平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名　神鋼商事株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　8075　URL　http://www.shinsho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 村瀬　敬一
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長　(氏名) 阿野　健二郎　TEL 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	578,661	△12.0	3,941	△15.8	3,377	△15.9	980	△56.4
24年3月期第3四半期	657,711	2.3	4,680	△15.6	4,018	△14.1	2,251	△24.9

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　838百万円　(△6.8%)　24年3月期第3四半期　898百万円　(△59.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11.07	―
24年3月期第3四半期	25.42	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	211,362	28,916	12.8
24年3月期	231,406	28,531	11.5

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　26,990百万円　24年3月期　26,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
25年3月期	―	3.00	―		
25年3月期(予想)				3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	803,000	△8.2	6,300	△3.9	5,600	△5.3	2,300	△21.7	25.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	88,605,625 株	24年3月期	88,605,625 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	54,050 株	24年3月期	53,801 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	88,551,645 株	24年3月期3Q	88,552,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・ 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・ 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・ 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1) 四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・ 6
(3) 継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(4) セグメント情報等 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・ 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内については震災復興関連需要などにより底堅く推移しているものの、長期間継続していた円高、欧州債務危機問題、中国を中心とするアジア諸国の景気減速などから不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループは上期まで好調であった自動車業界向けが下期に入り減速したことや、海外景気の減速により鉄鋼、半導体、電機各業界向けの取扱いが減少したことにより、厳しい業績となりました。

この結果、売上高は5,786億61百万円（前年同四半期比12.0％減）、営業利益は39億41百万円（同15.8％減）、経常利益は33億77百万円（同15.9％減）となりました。なお、特別損失として国内子会社が保有する固定資産の減損損失など3億48百万円を計上したことに加え、過年度法人税等として6億7百万円を計上したことなどから、四半期純利益は9億80百万円（同56.4％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は内需の低迷、市況の下落、円高による輸出の減少等により取扱量が減少しました。線材製品は国内を中心に取扱量は増加しましたが、国内外ともに価格下落の影響を受けました。また、チタン・ステンレス製品は海外案件等が堅調であり、取扱量は増加しました。

この結果、売上高は1,899億39百万円（前年同四半期比6.4％減）、セグメント利益は18億89百万円（同8.5％減）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は価格が下落したことに加え、石炭の取扱量も減少しました。冷鉄源も価格が下落しましたが、取扱量は増加しました。一方、合金鉄およびチタン原料は価格が上昇しましたが、取扱量は減少しました。

この結果、売上高は2,248億77百万円（前年同四半期比18.0％減）、セグメント利益は6億85百万円（同1.1％増）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は空調用銅管の取扱量が増加しましたが、半導体向け銅板条の取扱量は減少しました。アルミ製品は印刷版、ハードディスク用アルミ板条および半導体・液晶製造装置用アルミ加工品の取扱量が減少しました。また、非鉄原料もアルミ地金および銅・アルミスクラップの取扱量がそれぞれ減少しました。

この結果、売上高は1,201億17百万円（前年同四半期比14.9％減）、セグメント利益は2億58百万円（同56.1％減）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品はタイヤ機械や化学プラント用機器などの取扱いが減少しましたが、中国向けアルミ圧延関連機械や電池用材料の取扱いは増加しました。情報関連商品は太陽電池関連機材の取扱いが減少しましたが、液晶用電子材料の取扱いは増加しました。

この結果、売上高は457億85百万円（前年同四半期比24.8％増）、セグメント利益は2億19百万円（同29.9％増）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は建設機械業界向けの取扱量が微減となり、造船、化工機、自動車業界向けや輸出の取扱量も減少しました。溶接関連機器は中国の建設機械業界向けの取扱いが減少しました。また、生産材料の取扱量も減少しました。

この結果、売上高は290億63百万円（前年同四半期比24.4％減）、セグメント利益は3億2百万円（同44.4％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は2,113億62百万円となり、前連結会計年度末比200億43百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金と受取手形及び売掛金の減少によるものです。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は1,824億46百万円となり、前連結会計年度末比204億28百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は289億16百万円となり、前連結会計年度末比3億84百万円の増加となりました。これは主に配当金の支払いやその他有価証券評価差額金の減少があったものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年10月31日付けの「平成25年３月期第２四半期決算短信」において公表いたしました予想数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,476	6,798
受取手形及び売掛金	148,751	139,932
商品及び製品	24,015	21,879
仕掛品	473	332
原材料及び貯蔵品	303	377
前払金	9,827	10,335
繰延税金資産	705	525
その他	2,377	3,029
貸倒引当金	△287	△258
流動資産合計	203,642	182,951
固定資産		
有形固定資産	4,258	4,451
無形固定資産	1,451	1,438
投資その他の資産		
その他	22,296	22,692
貸倒引当金	△242	△171
投資その他の資産合計	22,054	22,520
固定資産合計	27,764	28,411
資産合計	231,406	211,362
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	130,659	112,601
短期借入金	30,225	25,079
未払法人税等	997	104
賞与引当金	779	446
その他	21,145	19,911
流動負債合計	183,807	158,142
固定負債		
長期借入金	17,039	22,464
退職給付引当金	612	614
役員退職慰労引当金	30	33
その他	1,385	1,191
固定負債合計	19,066	24,303
負債合計	202,874	182,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	21,415	21,944
自己株式	△17	△17
株主資本合計	29,752	30,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264	2
繰延ヘッジ損益	△11	△10

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
為替換算調整勘定	△3,377	△3,283
その他の包括利益累計額合計	△3,124	△3,291
少数株主持分	1,904	1,926
純資産合計	28,531	28,916
負債純資産合計	231,406	211,362

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位:百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	657,711	578,661
売上原価	641,921	561,992
売上総利益	15,789	16,669
販売費及び一般管理費	11,108	12,727
営業利益	4,680	3,941
営業外収益		
受取利息	32	29
受取配当金	361	455
為替差益	－	195
デリバティブ評価益	46	－
持分法による投資利益	109	102
雑収入	434	295
営業外収益合計	984	1,078
営業外費用		
支払利息	514	466
売掛債権譲渡損	656	512
為替差損	152	－
デリバティブ評価損	－	272
雑損失	322	389
営業外費用合計	1,646	1,641
経常利益	4,018	3,377
特別利益		
関係会社株式売却益	－	22
投資有価証券売却益	2	－
会員権売却益	－	5
特別利益合計	2	27
特別損失		
減損損失	－	331
投資有価証券評価損	60	2
会員権評価損	－	14
特別損失合計	60	348
税金等調整前四半期純利益	3,960	3,056
法人税、住民税及び事業税	1,199	1,154
過年度法人税等	－	607
法人税等調整額	416	276
法人税等合計	1,616	2,038
少数株主損益調整前四半期純利益	2,344	1,018
少数株主利益	93	37
四半期純利益	2,251	980

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,344	1,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△848	△267
繰延ヘッジ損益	39	0
為替換算調整勘定	△605	51
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	34
その他の包括利益合計	△1,445	△180
四半期包括利益	898	838
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	879	814
少数株主に係る四半期包括利益	18	23

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	202,834	274,130	141,156	36,672	38,425	693,219	281	△35,790	657,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	0	－	－	0	－	△0	－
計	202,834	274,130	141,156	36,672	38,425	693,220	281	△35,790	657,711
セグメント利益	2,065	677	588	168	543	4,044	37	△63	4,018

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	4,044
「その他」の区分の利益	37
その他の調整額	△63
四半期連結損益計算書の経常利益	4,018

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	189,939	224,877	120,115	45,785	29,063	609,780	278	△31,398	578,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1	－	－	1	－	△1	－
計	189,939	224,877	120,117	45,785	29,063	609,782	278	△31,399	578,661
セグメント利益	1,889	685	258	219	302	3,355	41	△19	3,377

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	3,355
「その他」の区分の利益	41
その他の調整額	△19
四半期連結損益計算書の経常利益	3,377

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「機械・情報」セグメントにおいて、継続して営業損失を計上している子会社の固定資産につき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該金額331百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。